

なとセン登録団体活動紹介



増田西防犯協会



住みよい増田西地区の為に

平成7年、増田西地区の防犯並びに青少年の指導を相互共助の精神をもって安全で安らぎのある地域社会づくりに寄与することを目的に、増田西防犯協会は設立されました。

犯罪者を遠ざける防犯パトロール

子どもが被害者となる犯罪が後を絶たない今日、増田西防犯協会では増田西小学校児童登下校時の安全確保の為、防犯に効果的な青色回転灯装備車両（パトロールカー）で、増田西地区を隅々まで巡回しています。

子どもは身の危険を感じると恐怖で大声を出せないことがあります。いざという時に備え、防犯ブザーの使い方を練習し、人通りの少ない場所や危険な場所を子どもと一緒に歩いて確認するなど、近づかないようにと伝えることが大切です。

協会では、地域住民が犯罪に巻き込まれない為に緑色の目立つベストと帽子、腕章を着用して防犯パトロールを行っています。その姿もここ数十年ですっかり地域に馴染んできています。

増田西小学校の児童が、お辞儀や敬礼、手を振って応えてくれ、パトロールカーに興味を持ち「見せて～♪」と声を掛けてくれるなど、設立当初は見ることができなかった微笑ましい光景に頬が緩み「とても嬉しい」と代表の相原義昭さんは目を細めます。



〔防犯パトロールグッズ〕

特殊詐欺被害にあわない為に

オレオレ詐欺、架空請求詐欺などの特殊詐欺被害抑止に向けた防犯キャンペーンでは、年金支給日に七十七銀行名取西支店の利用者や通行人に対して、特殊詐欺被害の現状や対策についてチラシと防犯グッズを配布し呼びかけを行っています。

「自分は大丈夫だ！騙されない！」と言って話を聞いてくれない人ほど被害に遭いやすい傾向があると注意喚起しています。

もしも、振込みを要求する電話がかかってきた時には「慌てず、急がず、まず相談！」と分かっている、実際その場に直面すると「子どもや孫の声にそっくり、住所も電話も合っている、何とかしてあげなくては」と慌ててしまい判断を誤ってしまうこともあるので嚴重な注意が必要です。



〔特殊詐欺被害防止チラシ・グッズ〕

不審な電話がきた時は、必ず電話を切り、家族、警察に相談することを決め事として共通認識を持つことが特殊詐欺被害防止に役立つこととして推奨しています。「増田西地区全体で防犯に関する意識を高め、複数の目で見守ることが犯罪防止に繋がります」と真剣な表情で相原代表は話します。

問合先：増田西防犯協会 代表 相原 嘉昭

☎ 022-384-3430